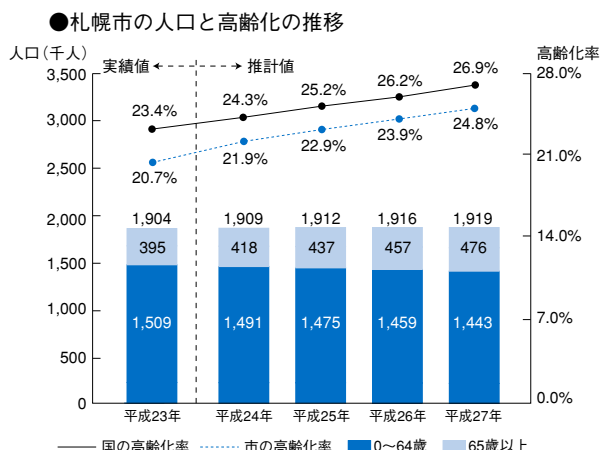


認知症を知る

【詳細】
介護保険課
☎211-2547



記憶力や判断力が徐々に失われていく「認知症」。
皆さんは、これが「脳の病気」であり、
「誰もがなり得る」ことをご存じですか。
高齢化が進む札幌においても、多くの認知症の方と家族が、
さまざまな思いを抱えながら暮らしています。
今回の特集では、認知症に関わる方へのインタビューを通じ、
その実情に迫るとともに、
認知症になっても安心して暮らせるまちにしていけるため、
私たちができることについて考えていきます。



高齢者の10人に1人が認知症
札幌市内に暮らす65歳以上の高齢者は、現在約39万人。そのうち、判明しているだけで約4万人が認知症と診断されており、実に高齢者の10人に1人が認知症であることとなります。

全国的な傾向と同様に、札幌市でも高齢化が進んでおり、平成27年には4人に1人が高齢者になることが見込まれています。これに伴い、高齢になるほどなりやすいといわれる認知症の方も今後増加していくと予想されます。

こうしたことから、認知症が今や私たちにとって身近な病気であることが分かります。